

令和2年度 雀宮中学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が評価計画、網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す生徒像含む）

【基本目標】 1 心豊かで、思いやりのある生徒の育成（情操）

2 主体的に学び、考え深い生徒の育成（創造）

3 からだを鍛えたくましい生徒の育成（健康）

【めざす生徒像】

思いやりのある生徒

主体的に学ぶ生徒

心身を鍛える生徒

【めざす教師像】

愛情と情熱にあふれる教師

みがき合う教師

実践力のある教師

【めざす学校像】

学び合える学校

共に伸びる学校

地域と共に歩む学校

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

生徒のよりよい成長のためには、教職員がプラス思考で組織的に行動すること、及び教職員と保護者・地域住民とが連携を密にすることが重要である。そこで、地域と一体になった教育活動を展開しながら社会性や郷土愛を育むとともに、生徒及び教職員が、互いに学び合い高め合う集団を形成し、生徒が夢や希望に向かっていきいきと活動できる学校づくりを推進する。

3 学校経営の方針（中期的視点）※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

（1）確かな学力の育成を図り、生徒が自信や志をもち、主体的にいきいきと学べる学校づくりに努める。

（2）豊かな心とたくましい体の育成を目指し、基本的生活習慣の確立と規範意識の醸成、人を思いやる心と人権を尊重する心の育成、及び健康で安全な学校生活の実現に努める。

（3）信頼される学校・活力ある学校・地域とともに歩む学校を目指し、家庭や地域との連携・協力を深めながら、創意ある教育活動に努める。

（4）教職員が互いに学び、高め合う協働的な同僚性の育成と専門的資質・能力の向上を図るとともに、業務改善の推進により勤務意欲の向上に努める。

（5）○地域学校園としての「目指す生徒像」の共有を図り、小・中が連携して地域の教育力を生かした教育活動を推進する。

〔雀宮地域学校園教育ビジョン〕

一人一人が自らの良さを自覚し、主体的に学ぶ児童生徒の育成

～ いきいきとした活動を通して ～

4 教育課程編成の方針

（1）関係法令、栃木県教育振興基本計画2020—教育ビジョンとちぎ—、第2次宇都宮市学校教育スタンダードや「令和2年度指導の重点」に基づき、地域の実態や生徒の発達段階、特性を考慮した特色ある教育活動を展開し、公教育の自覚のもとに、全教職員の理解と協力によって、本校の教育目標の実現を期す教育課程とする。

（2）「人間尊重の精神」を基盤とし、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな生徒の育成を目指し、各教科・道徳科・特別活動、総合的な学習の時間の相互の関連と調和を図る。

（3）学習指導要領に基づいた各教科の目標・指導内容を明確にし、基礎的、基本的な内容の確実な定着と個に応じた適切な学習支援や習熟度別学習等の工夫を図り、個性の伸長と学力向上を目指す教育課程とする。

（4）学習指導要領の趣旨に則り、教科等横断的な視点で、各教科等の関連付けを図りながら教育課程を編成し、すべての学習の基盤となる読解力や問題発見・解決能力及び現代的な諸課題に対応していくための資質・能力の育成を目指す。

（5）地域に根ざした豊かな体験活動（地域交流活動、地域貢献活動、社会体験活動）を教育課程に位置づけ、地区内小学校及び高校との連携を図った社会性育成のプログラムとする。

（6）生徒の体力向上及び心身の健康の保持増進に努め、心と体の健康に関する指導や食育をより充実する教育課程とする。

（7）特別支援教育の主旨に基づき、合理的配慮を踏まえて、個に応じた指導体制の整備に努め、学校内外の関係機関やそれらの支援機能を生かした運用を図る。

（8）地域学校園内の小中教員の交流を図るための連絡会議等を年間行事予定に位置づける。

5 今年度の重点目標（短期的視点）※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

- (1) 学校運営 「業務改善の推進と地域の教育力の活用による、いきいきとした学校づくり」
・業務改善の推進による、職員の勤務意欲の向上と生徒と向き合う時間の確保
○地域の教育力を生かした「地域とともに歩む学校」づくり
- (2) 学習指導 「基礎的知識・技能を活用しながら、主体的に考え、表現できる生徒の育成」
○基礎・基本の確実な定着と、「わかる、できる」を実感させる授業の工夫・実践
・「主体的・対話的で深い学び」の視点での指導法や学習形態の工夫による「思考力・判断力・表現力」の育成
・生徒に、各教科等の「見方・考え方」を働かせて課題に取り組ませるための発問・学習形態の工夫
- (3) 生徒指導 「夢や希望に向かって挑戦する、たくましい生徒の育成」
○温かい人間関係のもとで、自分の良さを発揮しながらいきいきと活動できる生徒の育成
・一人一人の良さを認め、励まし、称賛して自己肯定感・自己有用感を高める指導の充実
・認め合い、励まし合い、助け合う温かみのある集団の形成と、耐性（我慢する、あきらめない、くじけない）を育む指導の充実による、いじめ・不登校等の未然防止
- (4) 健康〈体力・保健・食・安全〉
「食と健康に対する関心を深め、体力の向上を目指す生徒の育成」
○生涯を通じて健康なからだを維持していくための基盤づくり
・健康と食の安全確保のための指導の充実と、体力の向上を目指すための工夫を凝らした教育活動の推進

6 自己評価（評価項目のAは市共通、Bは学校独自を示す。）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
目指す生徒の姿	A1 生徒は、進んで学習に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート「生徒は、授業中、話をしっかりと聞いたり、発表したりするなど、進んで学習に取り組んでいる。」 ⇒教職員・生徒の肯定的回答各 80%以上	・より組織的に学力向上を図っていくため、教科部会を通して本校の学力の実態を共有し、到達目標を設定し、共通した指導上の工夫を各教科で検討・実践していく。 ・教員同士で授業を公開し、生徒の学ぶ意欲をより効果的に引き出す授業形態や指導法を互いに探求し合い実践する。	B	【達成状況】 生徒の肯定的回答 94.8%，教職員の肯定的回答 95.1%で、ともに数値目標を上回った。 【次年度の方針】 ・新学習指導要領で求められる「主体的・対話的で深い学び」を目指した学力向上をより組織的に図っていくため、本校の学力の実態を踏まえた到達目標を設定して教科部会を定期的実施し、共通した指導上の工夫を各教科で検討・実践していく。また、教員同士で授業を公開し、生徒の学ぶ意欲をより効果的に高める授業形態や指導法を互いに探求し実践する。
	A2 生徒は、思いやりの心をもっている。 【数値指標】 全体アンケート「生徒は、誰に対しても、思いやりの心をもって優しく接している。」 ⇒各対象者の肯定的回答 80%以上	・道徳の授業を通して道徳的心情の醸成を促す。 ・思いやりをもった行動を賞賛する、生徒会による「サプライズ表彰」制度の充実を図り、思いやりの行動を促す。 ・地域学校園あいさつ運動や地域ボランティア活動への積極的な参加を促す。	B	【達成状況】 肯定的回答は教職員 97.6%，保護者 86.7%，地域住民 100%，生徒 93.3%で目標を達成した。 【次年度の方針】 ・道徳の授業を通して道徳的心情の醸成を促す。 ・「いじめ防止標語」の募集と優秀標語の掲示により、思いやりの行動を促す。 ・新型コロナ感染に配慮しながら可能な範囲内、地域学校園あいさつ運動や地域ボランティア活動への積極的な参加を促す。

<p>A3 生徒は、きまりやマナーを守って、生活をしている。</p> <p>【数値指標】</p> <p>全体アンケート「生徒は、決まりやマナーを守って生活している」</p> <p>⇒各対象者の肯定的回答 85%以上</p>	<p>・今の自分たちに誇りを持たせる指導を行い、自尊心の向上を目指す。</p> <p>・生徒の考え・意見を尊重し、自主性から主体性へのステップアップを図れるよう指導していく。</p> <p>・「雀中ガイドブック」の周知徹底により、規律のある学校生活を送ることができるようにさせる。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>肯定的回答は教職員 92.7%, 保護者 94.4% 地域住民 100%, 保護者 94.4%で全てにおいて数値目標を上回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・今の自分たちに誇りを持たせる指導を行い、自尊心の向上を目指す。</p> <p>・生徒の考え・意見を尊重し、自主性から主体性へのステップアップを図れるよう指導していく。</p> <p>・「雀中ガイドブック」の周知徹底により、規律ある学校生活を送ることができるようにさせる。</p>
<p>A4 生徒は、時と場に応じたあいさつをしている。</p> <p>【数値指標】</p> <p>全体アンケート「生徒は、時と場に応じたあいさつをしている」</p> <p>⇒各対象者の肯定的回答 85%以上</p>	<p>・あいさつ運動や地区内小学校と連携した朝の登校指導(あいさつ, 声かけ)の実施など、生徒主体の活動を継続する。</p> <p>・PTAや地域との連携強化を図る。</p> <p>・教師が率先垂範を心がける。</p> <p>・あいさつ運動の様子などを、各種通信やHPを通して、学校外へ周知していく。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>今年度は、コロナ禍の影響で、地域学校園あいさつ運動は実施することができなかったが、肯定的回答は教職員 92.7%, 保護者 91.3%, 地域住民 100%, 生徒 98.3%, で全てにおいて数値目標を上回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・次年度は、あいさつ運動や地区内小学校と連携した朝の登校指導(あいさつ, 声かけ)の実施など、生徒主体の活動を実施する。</p> <p>・PTAや地域との連携強化を図る。</p> <p>・教師が率先垂範を心がける。</p> <p>・あいさつ運動の様子などを、各種通信やHPを通して、学校外へ周知していく。</p> <p>・マスクを着用している状況で、大きな声であいさつができない中でも、会釈をするなど、あいさつの重要性を意識させる。</p>
<p>A5 生徒は、目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】</p> <p>全体アンケート「私(生徒)は、夢や目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。」</p> <p>⇒教職員、保護者、生徒の肯定的回答各 80%以上</p>	<p>・全校体制で耐性(我慢する、あきらめない、くじけない)を育む指導の充実に取り組む。</p> <p>・生徒が自分の良さを発揮しながらいきいきと活動できるよう、一人一人の良さを認め、励まし、称賛して自己肯定感・自己有用感を高める。</p> <p>・ダイアリーに定期的に一人一人の良さを書いてあげることに努める。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>肯定的回答は教職員 80.0%, 保護者 81.0% 生徒 86.6%, で全てにおいて数値目標を上回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・教職員は生徒一人一人の良さを認め、励まし、称賛して自己肯定感・自己有用感を高める指導に更に努めていきたい。</p>
<p>A6 生徒は、健康や安全に気を付けて生活している。</p> <p>【数値指標】</p> <p>全体アンケート「生徒は、健康や安全に気を付けて生活している。」</p> <p>⇒各対象者の肯定的回答 80%以上</p>	<p>・生徒会保健体育委員が、衛生検査を年間を通して継続的に実施する。</p> <p>・生徒が利用できるボールを昇降口に設置し、昼休みに校庭で運動できる環境を整え、運動を促す。</p> <p>・生徒会生活安全委員による、登下校時のマナーアップの呼びかけを行う。</p> <p>・生徒会少年消防クラブによる発表を通して防災・減災意識の高揚を図る。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>肯定的回答は教職員 97.6%, 保護者 86.7%, 地域住民 100%, 生徒 93.3%, で目標を達成した。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・生徒会保健体育委員が衛生検査を、給食委員がランチマット調査を年間を通して継続的に実施する。</p> <p>・生徒が利用できるボールを昇降口に設置し、昼休みに校庭で運動できる環境を整え、運動を促す。</p> <p>・生徒会生活安全委員による、登下校時のマナーアップの呼びかけを行う。</p> <p>・避難訓練時に生徒会少年消防クラブによる防災・減災意識の啓発を図る。</p>

<p>A7 生徒は、夢や目標をも って社会に貢献できる よう努力している。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「私（生徒） は、夢や目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。」 ⇒教職員、保護者、生徒の 肯定的回答各 80%以上</p>	<p>・今後も地域の関係団体や自治会との連携のもと、地域行事・地域活動へのボランティア参加を生徒に呼びかけ、地域の一員としての自覚を高める。</p> <p>・宮っ子チャレンジウィークを活用して、社会のためになることを積極的に行う態度や目標に向かって粘り強く取り組む態度を育む。</p>	B	<p>【達成状況】 教職員、保護者、生徒の肯定的回答はそれぞれ 80.0%、81.0%、86.6%で目標を達成できた。地域ボランティア活動には毎回、100 人を超える生徒の参加を得ることができた。</p> <p>【次年度の方針】 ・今後とも、地域ボランティア活動に生徒が積極的に参加できるよう、地域の一員としての自覚を醸成できるよう、ほめ、励まし支援していきたい。</p>
<p>A8 生徒は、英語を使って コミュニケーションして いる。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「生徒は、英語の授業や ALT との交流の際に、英語を使ってコミュニケーションしている。」 ⇒教職員・生徒の肯定的回答各 80%以上</p>	<p>・英語で行うことを基本とした英語科授業を実践する。また、基本的事項を活用した自己表現活動や即興の英会話活動を積極的に取り入れ、コミュニケーション能力の伸長を図る。</p> <p>・英語科の授業だけでなくその他の場面で、ALT との交流の機会を多く設定する。</p>	B	<p>【達成状況】 生徒の肯定的回答 90.4%、教職員の肯定的回答 94.6%で、ともに数値目標を上回った。</p> <p>【次年度の方針】 ・英語の授業は英語で行うことを基本として実践を継続する。また、基本的事項を活用した自己表現活動や Teacher's Talk 時も含めた即興の英会話活動を積極的に取り入れ、コミュニケーション能力の伸長を図る。 ・英語の授業だけでなくその他の場面で、ALT との交流の機会を多く設定する。</p>
<p>A9 生徒は、宇都宮の良さを 知っている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「生徒は、宇都宮の良さを知っている。」 ⇒教職員・保護者・生徒の 肯定的回答各 80%以上</p>	<p>・社会科の授業では、地域の古墳を教材として扱うなどして宇都宮の歴史への理解を深め、特別の教科「道徳」では、宇都宮への郷土愛に触れ、宇都宮への愛情と誇りを持てるようにする。</p> <p>・食育での「宮っ子ランチ」や宇都宮に関する図書の紹介、宇都宮にゆかりのある宇都宮百人一首大会についてなど、各種たよりやホームページ等での積極的な情報発信を図る。</p>	B	<p>【達成状況】 生徒の肯定的回答 78.2%、教職員の肯定的回答 72.5%、保護者の肯定的回答 55.9%で、全て数値目標を下回った。</p> <p>【次年度の方針】 ・総合的な学習の時間の年間指導計画に「宇都宮学」の各学年の目標に照らし合わせて 10 時間設定し、副読本を活用して指導する。 ・社会科の授業では、地域の古墳を教材として扱うなどして、宇都宮の歴史への理解を深め、特別の教科「道徳」では、郷土愛に触れ、宇都宮への愛情と誇りを持てるようにする。 ・食育での「宮っ子ランチ」や宇都宮に関する図書の紹介、宇都宮にゆかりのある宇都宮百人一首大会についてなど、各種たよりやホームページ等での積極的な情報発信を図る。</p>
<p>A10 生徒は、ICT機器や図 書等を学習に活用して いる。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「生徒は、ICT機器や図書等を学習に活用している。」 ⇒教職員・生徒の 肯定的回答各 80%以上</p>	<p>・学年優先週間を設け、コンピュータ室利用を促進する。</p> <p>・ソフトウェア研修を実施し、タブレット型パソコンの活用推進を図る。</p> <p>・学校ホームページを通して ICT 機器利用や図書室利用状況を積極的に発信する。</p>	B	<p>【達成状況】 肯定的回答は教職員 84.6%、生徒 70.7%で目標を達成することができなかった。</p> <p>【次年度の方針】 ・GIGAスクール構想による、教室における生徒1人1台端末と高速大容量の通信ネットワークの利用を促進する。 ・プラットフォーム研修を実施し、パソコンの活用推進を図る。 ・「修学旅行」や「お弁当の日」などの行事の際に図書室を利用し、情報センターとしての図書室利用の推進を図る。</p>

<p>A11 生徒は、高齢者に対する感謝やいたわりの心をもっている。</p> <p>【数値指標】</p> <p>全体アンケート「生徒は、誰に対しても、思いやりの心をもって優しく接している。」 ⇒各対象者の肯定的回答 80%以上</p>	<p>・道徳科の授業を通して高齢者に対する感謝やいたわりの心の醸成を促す。</p> <p>・地域学校園あいさつ運動や地域ボランティア活動への積極的な参加を促すとともに、高齢者との交流の場を計画的に設定する。</p>	B	<p>【達成状況】</p> <p>肯定的回答は教職員 97.6 % , 保護者 86.7%, 地域住民 100%, 生徒 93.3%で目標を達成した。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・道徳科の授業を通して高齢者に対する感謝やいたわりの心の醸成を促す。</p> <p>・新型コロナウイルスに配慮しながら可能な範囲内で、学校園あいさつ運動や地域ボランティア活動への積極的な参加を促すとともに、地域の大人や高齢者との交流の場を計画的に設定する。</p>
<p>A12 生徒は、「持続可能な社会」について、関心をもっている。</p> <p>【数値指標】</p> <p>全体アンケート「生徒は、「持続可能な社会」について、関心をもっている。」 ⇒生徒・教職員の肯定的回答各 80%以上</p>	<p>・教職員自ら、持続可能な社会の理解について自己研修に努め、普段の生活に生かすよう努める。</p> <p>・特設コーナーを設置して、環境や人権に関するポスターを掲示するなどして、生徒の意識の高揚を図る。</p> <p>・古紙回収やプラスチックごみ分別の徹底を図るなど、生徒の実践力を高める。</p>	B	<p>【達成状況】</p> <p>肯定的回答は教職員 41.0%, 生徒 76.8%, で達成できていない。特に、教職員の達成度が低い。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・教職員自ら SDGS の意味・概念、国際的な取り組みを理解し、日頃からの様々な教育活動にいかすよう努力を進めなければならない。</p>
<p>B1 生徒は、自分の良いところを理解している。</p> <p>【数値指標】</p> <p>全体アンケート「私には、良いところや頑張っていることがある」 ⇒生徒の肯定的回答 80%以上</p>	<p>・多角的な視点で目を配り、生徒の良い言動を見取り称賛し、自己肯定感を高めさせる。</p> <p>・教育相談や学級活動等を活用して、生徒が自己理解を深め、自分の良さに気付くことができるよう支援する。</p> <p>・生徒同士が互いの良さを認め合うことのできる学級づくりに取り組む。</p>	B	<p>【達成状況】</p> <p>肯定的回答は生徒が 85.6%, 教職員が 82.1% で目標を達成した。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・多角的な視点で目を配り、生徒の良い言動を見取り称賛し、自己肯定感を高めさせる。</p> <p>・教育相談や学級活動等を活用して、生徒が自己理解を深め、自分の良さに気付くことができるよう支援する。</p> <p>・生徒同士が互いの良さを認め合うことのできる学級づくりに取り組む。</p>
<p>B2 生徒は、家庭学習の習慣を身に付けている。</p> <p>【数値指標】</p> <p>全体アンケート「私は、毎日家庭学習に取り組んでいる」 ⇒生徒の肯定的回答 90%以上</p>	<p>・家庭学習ノートの効果的な活用を工夫し、授業の復讐を中心にした学習習慣の定着を図る。</p> <p>・能力に応じた学習目標の設定と実施内容の精査などについて、個別の支援を充実させる。</p>	B	<p>【達成状況】</p> <p>生徒の肯定的回答 97.5%, で数値目標を上回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・家庭学習ノートの提出率については一定の成果を収められている。その日の授業の復習を主眼とした今年度の取組を継続する。また、能力に応じた学習目標の設定と学習内容の精査などについて、個別の支援を充実させる。</p>
<p>A13 教職員は、特別な支援を必要とする生徒の実態に応じて、適切な支援をしている。</p> <p>【数値指標】</p> <p>全体アンケート「教職員は、特別な支援を必要とする生徒の実態に応じて、適切な支援をしている。」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上</p>	<p>・生徒一人一人の特性や障がい把握し、教職員間で支援の方法など共通理解を図る。</p> <p>・特別な支援が必要な生徒に対して、個別の教育支援計画や個別の指導計画を作成・活用し、学校全体で指導にあたる。</p> <p>・保護者やスクールカウンセラー、メンタルサポーター、関係機関と連携して支援する。</p>	B	<p>【達成状況】</p> <p>肯定的回答は 97.5%, と目標を大きく上回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・生徒一人一人の特性や障がい把握し、教職員間で支援の方法など共通理解を図る。</p> <p>・特別な支援が必要な生徒に対して、個別の教育支援計画や個別の指導計画を作成・活用し、学校全体で指導にあたる。</p> <p>・保護者やスクールカウンセラー、メンタルサポーター、関係機関と連携して支援する。</p>

目 指 す 学 校 の 姿	<p>A14 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「学校は、いじめ対策に熱心に取り組んでいる。」 ⇒各対象者の肯定的回答 80%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校だよりや生徒指導だより、学校ホームページ、保護者会などで、生徒・保護者・地域住民に向けて本校のいじめ対策について積極的に情報を発信していく。 ・いじめゼロ集会など生徒主体のいじめ撲滅に向けた活動を実施して、いじめ等の未然防止を図り、「信頼される学校づくり」に努める。 ・いじめアンケートの実施により、未然防止と早期発見・早期対応の徹底を図る。 	<p>【達成状況】 生徒の肯定的回答 97.1%, 保護者の肯定的回答 76.5%, と昨年を上回ったが、保護者の肯定的回答は目標を達成できなかった。</p> <p>【次年度の方針】 ・学校だよりや生徒指導だより、学校ホームページ、保護者会などで、生徒・保護者・地域住民に向けて本校のいじめ対策について積極的に情報を発信していく。 ・いじめゼロ集会など生徒主体のいじめ撲滅に向けた活動を実施して、いじめ等の未然防止を図り、「信頼される学校づくり」に努める。 ・いじめアンケートの年4回の実施により、未然防止と早期発見・早期対応の徹底を図る。 ・SNSなどの使い方の注意点や、危険性について継続的に指導していく。 </p>
	<p>A15 教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「教職員は、不登校を生まないよう一人一人の生徒を大切に、生徒がともに認め励まし合う学級づくりを行っている。」 ⇒教職員・生徒・保護者の肯定的回答各 80%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・欠席時には電話連絡や家庭訪問を積極的に行う。 ・生徒の情報を早期に共有し、担任だけでなく複数の教員で支援する。 ・スクールカウンセラーやメンタルサポーター、保護者等との連携体制を強化する(教育相談部会の充実)。 ・教育相談週間に加え、常時、チャンス相談を活用して、生徒の悩みや不安への早期対応に努める。 ・温かい雰囲気学の学級経営及び、互いに認め合い、助け合う集団づくりに努める。 	<p>【達成状況】 肯定的回答は教職員が 97.5%, 生徒が 97.1%, 保護者が 85.8%と目標を大きく上回った。</p> <p>【次年度の方針】 ・欠席時には電話連絡や家庭訪問を積極的に行う。 ・生徒の情報を早期に共有し、担任だけでなく複数の教員で支援する。 ・スクールカウンセラーやメンタルサポーター、保護者等との連携体制を強化する(教育相談部会の充実)。 ・教育相談週間に加え、常時、チャンス相談を活用して、生徒の悩みや不安への早期対応に努める。 ・耐性(あきらめない、くじけない、がまんする)を育む指導の充実に努める。 ・温かい雰囲気学の学級経営及び、互いに認め合い、助け合う集団づくりに努める。 </p>
	<p>A16 教職員は、外国人生徒等の実態に応じて、適切な支援をしている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「教職員は、特別な支援を必要とする生徒や外国人生徒等の実態に応じて、適切な支援をしている。」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人生徒の願いや実態把握に努める。 ・関係機関と連携しながら支援にあたる。 	<p>【達成状況】 教職員の肯定的回答は 97.5%で、目標を達成した。</p> <p>【次年度の方針】 ・現時点では外国人生徒は在籍していないが、必要に応じて今後も以下の取組を行う。 ・外国人生徒の願いや実態把握に努める。 ・関係機関と連携しながら支援にあたる。 </p>
	<p>A17 学校は、活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「学校全体に活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。」 ⇒各対象者の肯定的回答 90%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒を認め、励ます教育を推進して教職員と生徒の温かい人間関係、信頼関係を構築する。 ・実行委員会を中心とした生徒の主体的な活動を多く取り入れ、達成感や充実感が味わえるようにする。 	<p>【達成状況】 肯定的回答は、教職員・保護者・地域住民・生徒共に肯定回答は 90%以上で目標を達成することができた。</p> <p>【次年度の方針】 ・コロナ禍の中でも、互いを思いやる気持ち、温かい人間関係、信頼関係の構築に努める。 ・学校行事が縮小され限られた活動の中でも実行委員会を中心とした生徒主体の活動を工夫して行い、達成感や充実感が味わえるようにする。 </p>

<p>A18 教職員は、分かる授業や生徒にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている。</p> <p>【数値指標】</p> <p>全体アンケート「教職員は、分かりやすい授業や一人一人へのきめ細かな指導をしている。」 ⇒教職員・保護者・生徒の肯定的回答各 80%以上</p>	<p>・「思考力・判断力・表現力」の育成を図るため、一人一公開授業や教科部会などの校内研修を実施しながら、「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善に取り組む。</p> <p>・学習目標の提示と振り返り活動の確実な実施を継続させ、生徒がわかったことを実感できる授業作りに努める。</p> <p>・生徒一人一人の理解度に応じた指導を充実させるため、チームティーチングや習熟度別学習のより効果的な運用に努めるなどして、基礎・基本の確実な定着を図る。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>生徒の肯定的回答 95.0%, 教職員の肯定的回答 97.5%, 保護者の肯定的回答 81.9%で、全て数値目標を上回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・「思考力・判断力・表現力」の育成を図るため、一人一公開授業や教科部会などの校内研修を実施しながら、「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善や、生徒に「見方・考え方」を働かせて課題に取り組ませるための発問・学習形態の工夫に取り組む。</p> <p>・学習目標の明確な提示と振り返り活動の確実な実施を継続させ、生徒がわかったことを実感できる授業作りに努める。</p> <p>・生徒一人一人の理解度に応じた指導を充実させるため、チームティーチングや習熟度別学習のより効果的な運用に努めるなどして、基礎・基本の確実な定着を図る。</p>
<p>A19 学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】</p> <p>全体アンケートの「学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上</p>	<p>・全教職員がそれぞれの専門性を生かしながらチームとして取り組み、学習指導や生徒指導の充実を図っていく。</p> <p>・スクールカウンセラー、メンタルサポーター等が参加するケース会議を積極的に開催し、多様な専門性に基づく情報交換を行う。</p> <p>・習熟度別学習やチーム・ティーチングの積極的な実施、かがやきルーム指導員との連携強化により、基礎学力の向上を図る。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>教職員の肯定的回答は 97.6%で目標を達成した。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・全教職員がそれぞれの専門性を生かしながらチームとして取り組み、学習指導や生徒指導の充実を図っていく。</p> <p>・スクールカウンセラー、メンタルサポーター等が参加するケース会議を積極的に開催し、多様な専門性に基づく情報交換を行う。</p> <p>・習熟度別学習やチーム・ティーチングの積極的な実施、かがやきルーム指導員との連携強化により、基礎学力の向上を図る。</p>
<p>A20 学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】</p> <p>全体アンケートの「学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上</p>	<p>・他校の事例を積極的に収集し、自校化を図る。</p> <p>・教職員の時間に関する意識改革やICTの活用による業務の効率化を図るなどして、「授業の改善を図るための時間」や「生徒と向き合うための時間」の確保に努める。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>教職員の肯定的回答は 77.5%で目標を達成することができなかった。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・昨年度は 65.1%であったが、本年度は 77.5%で 12.4%伸びている。引き続き職員の意識改革を図っていく。</p> <p>・教職員の時間に対する意識改革やICTの活用による業務の効率化を図るなどして、「授業の改善を図るための時間」や「生徒と向き合うための時間」の確保に努める。</p>

<p>A21 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。</p> <p>【数値指標】</p> <p>全体アンケート「学校は、小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。」 ⇒各対象者の肯定的回答各 80%以上</p>	<p>・小中の交流活動を継続して行い、小中一貫教育・地域学校園での取組を強化していく。</p> <p>・学校園だよりや学校だより・学校HPを活用して、地域学校園の取組を保護者・地域住民に周知する。</p>	B	<p>【達成状況】</p> <p>肯定的回答は教職員 95.0%，保護者 83.9%，地域住民 100%であったが、生徒は 71.9%で目標を達成する事ができなかった。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・生徒に「小中一貫・地域学校園」としての取組を周知し理解させるとともに意識を高めさせる。</p> <p>・今後は、コロナ禍の中でも可能な範囲内で小中の交流活動を行い、小中一貫教育・地域学校園の取組を行う。</p> <p>・学校園だよりや学校だより・学校HPを活用して、地域学校園の取組を保護者・地域住民に周知する。</p>
<p>A22 学校は、地域の教育力を生かした特色ある教育活動を展開している。</p> <p>【数値指標】</p> <p>全体アンケート「学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている。」 ⇒教職員・保護者・地域住民の肯定的回答各 85%以上</p>	<p>・学校支援ボランティアの協力を得て、学校の環境整備の充実を図る。</p> <p>・学校だよりや各種だよりを定期的に発行するとともに、ホームページを随時更新するなどして、学校から情報を積極的に発信し、家庭・地域に連携を呼びかける。</p>	B	<p>【達成状況】</p> <p>教職員・保護者・地域住民の肯定的回答はそれぞれ 90.0%，87.9%，100%で目標を達成できた。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・コロナ禍の中でも、地域の教育力を生かした教育活動を見出し、連携協力活動を復活・推進することに努めたい。</p>
<p>A23 学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、よりよい生徒の育成に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】</p> <p>全体アンケート「学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている。」 ⇒教職員・保護者・地域住民の肯定的回答各 85%以上</p>	<p>・生徒のボランティア活動引率等について、PTAと今後とも継続的に連携を進めていく。</p> <p>・キャリア教育への生徒の意識を高めるため、外部講師等を積極的に活用するとともに、宮っ子チャレンジウィークを積極的に継続的に活用する。</p>	B	<p>【達成状況】</p> <p>教職員・保護者・地域住民の肯定的回答はそれぞれ 90.0%，87.9%，100%で目標を達成できた。地域ボランティア活動では多くのPTAの部会メンバーの方々の協力をいただいた。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・コロナ禍の中でも、地域の教育力を生かした教育活動を見出し、連携協力活動を復活・推進することに努めたい。</p>
<p>A24 学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。</p> <p>【数値指標】</p> <p>全体アンケートの「学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。」 ⇒教職員・保護者・地域住民の肯定的回答 80%以上</p>	<p>・避難所開設時を含めた校内安全点検を確実に実施するとともに、市や地域関係者と連携して利用者の安全確保に努める。</p>	B	<p>【達成状況】</p> <p>肯定的回答は教職員 97.6%，保護者 92.6%，地域住民 100%で、目標を達成した。今年度は、避難者初期マニュアルを作成、地域の関係者とともに共通理解を図った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・今後も、避難所開設時を含めた校内安全点検を確実に実施するとともに、市や地域関係者と連携して利用者の安全確保に努める。</p>

本校の特色・課題	<p>A25 学校は、学習に必要な ICT 機器や図書等を整えている。</p> <p>【数値指標】</p> <p>全体アンケート「生徒は、ICT 機器や図書等を学習に活用している。」 ⇒生徒・教職員の肯定的回答各 80%以上</p>	<p>・学年優先週間を設け、コンピュータ室利用を促進する。</p> <p>・ソフトウェア研修を実施し、タブレット型パソコンの活用推進を図る。</p> <p>・学校ホームページを通して ICT 機器利用や図書室利用状況を積極的に発信する。</p>	B	<p>【達成状況】</p> <p>肯定的回答は教職員 84.6%、生徒 70.7% で目標を達成することができなかった。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・「まなびポケット」の講義コンテンツが有効であることを紹介し、定期テスト前の復習に活用を図るよう啓発をする。また、学年を逆のぼって学習することで、学習内容のつまずきの克服につなげる。</p> <p>・「修学旅行」や「社会体験学習」などの行事の際に図書室を利用し、情報センターとしての図書室利用の推進を図る。</p>
	<p>B3 教師は、生徒の良さを認め、ほめている。</p> <p>【数値指標】</p> <p>全体アンケート「先生方は、生徒の良いところや頑張ったことをほめてくれる」 ⇒教職員・生徒の肯定的回答各 85%以上</p>	<p>・道徳科の授業や学級活動、学校行事、部活動をはじめ、日常生活の中で一人一人の良さを認め、励まし、称賛して、生徒が自己肯定感を高めることができるよう、全校体制で取り組む。</p> <p>・生徒理解を深めることができるよう、教職員間で生徒に関する情報交換を積極的に行う。</p>	B	<p>【達成状況】</p> <p>肯定的回答は教職員が 97.5%、生徒が 96.0% と目標を大きく上回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・道徳科の授業や学級活動、学校行事、部活動をはじめ、日常生活の中で一人一人の良さを認め、励まし、称賛して、生徒が自己肯定感を高めることができるよう、全校体制で取り組む。</p> <p>・生徒理解を深めることができるよう、教職員間で生徒に関する情報交換を積極的に行う。</p>
	<p>B4 生徒は、雀中そーらんや合唱コンクールなどの行事に精一杯取り組み、やり遂げた。</p> <p>【数値指標】</p> <p>全体アンケート「私は、雀中そーらんや合唱コンクールに精一杯取り組み、やりとげることができた」 ⇒生徒の肯定的回答 95%</p>	<p>・生徒主体の取組を展開し、認め、励まし合い、仲間と共によりよいものを創り出そうとする意識や、目標に向かって粘り強く努力するなどの豊かな心の醸成に努める。</p> <p>・本校の伝統を大切にし、指導用 DVD を作成して練習の方法等について工夫するなど、教職員・生徒に過度な負担がかからないよう配慮する。</p>	B	<p>【達成状況】</p> <p>今年度は、コロナ禍の中で例年とは違う形での実施となったが、生徒の肯定的回答は 97.9% で目標を達成した。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・今後も生徒主体の取組を展開し、認め、励まし合い、仲間と共によりよいものを創り出そうとする意識や、目標に向かって粘り強く努力するなどの豊かな心の醸成に努める。</p> <p>・本校の伝統を大切にし、指導用 DVD を作成して練習の方法等について工夫するなど、教職員・生徒に過度な負担がかからないよう配慮する。</p>

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所の下線を付ける。

- ・市内中学校の平均と比較して、ほとんどの項目で、肯定的回答が教職員・保護者・地域住民・生徒ともに上回っている。
- ・A5・7「生徒は夢や目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。」ではコロナ禍の中で5月までの学校休業や各種行事の中止・縮小開催という状況の中でも夢や目標を見失わず取り組めた生徒が、昨年の 84.6% から 86.6% と上昇した。これは、本校の重点目標「夢や希望に向かって挑戦するたくましい生徒の育成」に基づき全教職員が取り組んだ成果であると考えられる。引き続きコロナ禍の中、制限の多い学校生活の中でも工夫を凝らし、粘り強く取り組ませていく。
- ・B4「生徒は、雀中そーらんや合唱コンクールなどの行事に精一杯取り組み、やり遂げた。」における肯定的回答は、例年と同様、教職員・保護者・地域住民・生徒ともに非常に高い数値となっている。今年度はコロナ禍の中、例年のような活動時間が取れない中での活動にもかかわらず、素晴らしい歌声と演舞を披露してくれた。両行事とも、保護者や地域住民から愛されており、生徒もやり遂げることで自信と誇りを持つことができています。今後もこれらの行事を大切にしていきたい。

- ・本年度は、29 項目中 6 項目で目標を達成することができなかった。次年度は、重点課題や改善策について教職員への周知徹底を図り、目標を達成するための具体的な取組の充実を図っていく。

目標を達成することができなかった項目

- ・A9 生徒は、宇都宮の良さを知っている。
- ・A10 生徒は、ICT機器や図書等を学習に活用している。(A25 学校は、学習に必要なICT機器や図書等を整えている。)
- ・A12 生徒は、「持続可能な社会」について、関心をもっている。
- ・A14 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。
- ・A20 学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。
- ・A21 学校は、「小中一貫・地域学校園」の取組を行っている。

○A21 については、中学生が小学校を訪問して行うあいさつ運動などが、「小中一貫・地域学校園」の取組であるが、本年度においてはコロナ禍のため実施することが出来なかった。そのため生徒の肯定的回答の割合は低下した。今後は、コロナ禍の状況で取り組める活動を検討していく。

- ・A10, A25 については、今年度 2 月にタブレットパソコンが生徒一人 1 台導入されること、また、ICT に対応できる人材の育成は時代の要請でもあることから、全校体制で取組の充実を図っていく。
- ・A20 については、昨年度は 65.1%であったが、本年度は 77.5%で 12.4%伸びている。引き続き教職員の意識改革を図っていく。

7 学校関係者評価

(地域協議会委員の発言より)

- ・A4「児童生徒は、時と場に応じたあいさつをしている」では、あいさつがすばらしい。活動中でも姿を見かけると必ずあいさつの輪が広がり嬉しく思う。
- ・A9「宇都宮のよさ」については、本校も課題である。雀宮は歴史の町であるのでまずは雀宮から学ぶことを始めようと思っている。
- ・A10「ICT 機器や図書等を活用している」では、ICT はこれからの時代なくてはならないもの。是非、活用を推進してほしい。
- ・A12「持続可能な社会について」は SDGs は大人でも知らない人の方が多い。次年度の方針にある通り、まずは教職員が知ることが大切であると思う。
- ・今年度は、コロナ禍で思うような活動が出来なかったと思いますが、総合的に肯定的回答率も高く素晴らしいと思います。
- ・今年度は、体育祭や文化祭が中止になり生徒たちのメンタルを心配していましたが、先生方のご配慮により違う形で披露することができ、B4「生徒は、雀中そーらんや合唱コンクールなどの行事に精一杯取り組み、やりとげることができた」の肯定的回答が 97.9%という結果に安心しました。
- ・コロナ禍での学校での取り組みで、先生の職務負担軽減や生徒へのタブレットや動画活用など、もっと活用できそうなものがあればどんどんやってみていいかと思います。
- ・休校中に宿題をたくさん出すのではなく、どう勉強内容を理解させられるかなのかなと感じました。特に 1 年生は小学校との勉強のやり方の違いがあると思います。
- ・一部ではありますが、年々あいさつ無しや迷惑行為が増えているような気がします。
- ・今年度は、コロナ禍の中で先生方は子供たちの為に様々な工夫と努力をされていたと思います。そして、子供たちも不貞腐れたり諦めたりせず、この状況を受け止めながら学校生活を楽しみ、それぞれの目標に向かって努力していたと思います。
- ・コロナ禍という想像もしなかった状況でもこのように対応出来ることは、雀中の素晴らしさと改めて感じました。ただ、子供たちの挨拶は雀中のシンボルですので今後も繋いでいって欲しいと思います。
- ・いじめ問題で保護者の肯定的回答が低いのは、先生方が見過ごしてる事案を生徒が家庭で話しているのではないかと考えられます。
- ・我が子からいじめ事案を聞いた保護者は気兼ねなく学校に相談できるようにしたり、先生方も業務の効率化を図り生徒たちの学校生活をつぶさに見て欲しいと思います。
- ・地域住民からの生徒に対する評価が非常に高く素晴らしいと思います。雀中生の元気なあいさつと地域ボランティアに活発に参加してきた結果だと思います。今年度は雀中生の活躍を見る機会が少なく寂しい 1 年になりましたが、1 日も早く安心して学校生活が送れるように願っています。そして、地域にも元気をくれることを期待しています。
- ・諸所の課題の多くが数値目標を大きく上回り雀宮中学校の先生方が日々真摯に取り組まれている教育の賜物だと思いい、地域に住む者として心より敬意を表します。コロナ禍の中、生徒が決まりやルールを守って勉学に勤しみ、落

ち着いた日常を送っている様子が伺われ、安心いたしました。

- ・ A12「持続可能な社会への関心」では、一般社会でも浸透に苦慮している課題、給食後に生徒が率先して牛乳パックを回収しているのを見て少しずつ根付いているように感じました。
- ・ A20の教職員の方々の働き方改革の目標値が上昇していることは、より一層の授業の改善を図る意味でも大変好ましいことと思われます。
- ・ コロナ禍の影響により、予定していた取組を進めることが出来ずにご苦労があったと思います。新年度においては今年度の経験を生かし、更には学校運営全般において、一度立ち止まってこれまでのやり方を見直す良い機会であると肯定的にとらえて頂きたいと思います。
- ・ A14「教職員は、いじめが許されな行為であることを指導している」難しい問題ではありますが、単に「いじめが許されない行為であることを指導する」だけだと子供の心を抑圧する結果となってしまうことも考えられます。誰かに対する「好き・嫌い」「気に入る・気に入らない」は自然に湧き上がる気持ちであるわけですから、子供たちが、それはそれとして、まずは自分の気持ちを認めて受け入れることができるよう、そこから始める必要があると思います。
- ・ A25「学校は、学習に必要な ICT 機器や図書館等を整えている」ICT 機器の活用は、これからの教育において大変有効であると思いますが、あくまでも手段の一つである事を忘れずに、必要に応じた効果的な活用方法を探っていただきたいと思います。

8 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

- ・ 今年度の学校の重点目標、それへの取組と成果についてコロナ禍の中、十分な活動が出来ない状況の中で概ね良好な評価をいただけた。次年度は以下の目標を設定し、いきいきとした学校づくりを推進する。（下線部が新たに追加したもの）
 - （１）学校運営「業務改善の推進と地域の教育力の活用による、いきいきとした学校づくり」
 - ・ 業務改善の推進による、職員の勤務意欲の向上と生徒と向き合う時間の確保
 - 地域の教育力を生かした「地域とともに歩む学校」づくり
 - ・ 「新しい生活様式」の徹底と特色ある学校づくりを両立した学校運営の工夫
 - （２）学習指導「基礎的知識・技能を活用しながら、主体的に考え、表現できる生徒の育成」
 - 基礎・基本の確実な定着と、「わかる、できる」を実感させる授業の工夫・実態
 - ・ 「主体的・対話的で深い学び」の視点での指導法や学習形態の工夫による「思考力・判断力・表現力」及び「主体的に学習に取り組む態度」の育成
 - ・ 生徒に、各教科等の「見方・考え方」を働かせて課題に取り組ませるための発問・学習形態の工夫
 - （３）生徒指導「夢や希望に向かって挑戦する、たくましい生徒の育成」
 - 温かい人間関係のもとで、自分の良さを発揮しながらいきいきと活動できる生徒の育成
 - ・ 一人一人の良さを認め、励まし、称賛して自己肯定感・自己有用感を高める指導の充実
 - ・ 認め合い、励まし合い、助け合う温かみのある集団の形成と、耐性（我慢する、あきらめない、くじけない）を育む指導の充実による、いじめ・不登校等の未然防止
 - ・ 「新しい生活様式」を意識して、感染防止のために主体的に判断して行動できる生徒の育成
 - （４）健康（体力・保健・食・安全）「食と健康に対する関心を深め、体力の向上を目指す生徒の育成」
 - 生涯を通じて健康なからだを維持していくための基盤づくり
 - ・ 健康と食の安全確保のための指導の充実と、体力の向上を目指すための工夫を凝らした教育活動の推進